

高陽東高等学校の特色ある授業の紹介（2学期・12月分）

「世界事情」（地歴・公民科）

19回：令和元年12月9日（月）3～4限

「カナダの文化」

講師：広島カナダ協会 事務局長

スコット・マッキーマン先生

「カナダ」という国については、馴染みのある国だと考えていましたが、初めて教えて頂くことが多く、あらためて「外国」のことを知らないということを実感しました。フランス語が第2公用語であることや国内でも地域によって言語や文化などが大きく異なっていることなど、広大な国土を持つ国ならではの特徴だと思いました。なるほど、狭い日本においても地域によって様々な文化や風習があることを思えば、当たり前なのかもしれません。



メープルシロップ

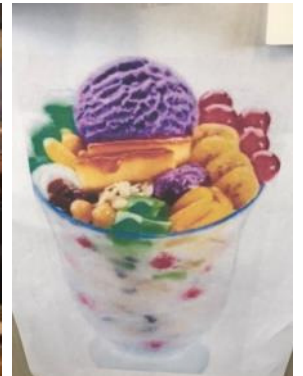


20回：令和元年12月16日（月）3～4限

「フィリピン文化と日本」

講師：生村アラセリ先生

今年度フィリピンについては二度目の講義でした。簡単な日常会話はいづらか覚えていました。民族舞踊は、とてもゆっくりとした動きで、逆に難しかったです。フィリピン風かき氷の「ハロハロ」は様々なトッピングをのせて自分オリジナルのハロハロが作れるとのことでした。スペインやアメリカ、そして日本などの支配を受けてきた結果、様々な文化が融合したフィリピン文化が形成されたと聞き、複雑な心境がしました。



フィリピン風かき氷
「ハロハロ」